

時代	西暦	湖周辺の出来事	湖と周辺の自然	人々の生活	農業・漁業
	2017	★水位差1cmP170801稼働延期→170901	・フナボウ死回収5000:青潮?青海先生	赤潮発生	
	2016			★下水接続率75%	
H28	2016	・赤潮全域に発生(7月末~10月初)無毒	・▲フジツボ★コウロン爆発 フナムシ(アイB)	・流入河川にコイ・フナ多く避難	塩分回避
	2015	・湖東岸圃場整備開始(2017完成)	・◆ヒシ:観音川細呂木橋下流に3個体	◆湖内ゼロ★下水接続72%	ヒシ消滅
H27	2015	・南湖の東側湖岸波浪浸食被害工事	・▲フジツボ★コウロン11月以降激減	・4月30~5月2:フナ19死骸	
	2014	・大学連携リーグ連携研究開始	・▲フジツボと★コウロンカワヒバリガイ生息	・ホシバシロ、オオ0ハン激増	シジミ湧く
	2014	・北潟湖自然再生に関する協議会設立	・塩尻橋奥まで▲フジツボ○	★下水接続率70.6%	
H24	2012	・あわら市環境基本計画答申(菊澤正裕)	・赤尾:全域▲フジツボ◎	・意識調査&シホ	
H23	2011	・北潟湖生物生息状況調査(2010、11)	・ガン衝突ナシ(ミサゴ・トビあり)	★下水接続率65%	
H22	2010	・海岸台地に風力発電10基:2万KW	・蓮ヶ浦:▲フジツボ◎		
	2010	・昭和橋付近浚渫工事(2011完了)	・干裏:観音河口▲フジツボ	・高さ115m:マカン影響?	
	2009		・一部でヒシ・◆観音川河口◎		
	2008	・昭和橋奥浚渫工事開始	・観音河口▲フジツボ	・北潟地区下水道完成	
	2008	★塩害(干ばつによる)32ha	◆赤尾ヒシ×:小牧ヒシ× 悪臭	2007:寒ブナ100kg	
	2007	★塩害・高島正信(福井工大)研究論文	・自動水門による水質悪化懸念	最深3.1m	ヒシ悪臭
	2006	★3月:水位差3cmに閉prog変更		2006:初日水揚げ30kg	06シジミ放
H17	2005	・開田橋完成(10→18m拡幅)21億	◆赤尾ヒシ×:小牧ヒシ◎	・2005:久谷ダム完成	
	2005	・昭和橋浚渫工事・2006日の出橋完成1.8億	2007:市環境基本計画策定	2005:寒ブナ不漁3年続き	05シジミ放
	2004	・開田橋(水門稼働)★9月水位差5cm閉	2004環境省湖沼CODワースト15位/165	2005:コイヘルバスで69匹	03シジミ繁
	2001	・河口浚渫工事:水深2m:浚渫砂敷き砂工事	◆赤尾ヒシ◎:小牧ヒシ◎	2003:観音川親水空間工事	シジミ放福良
	2001	・環境省全国500の重要湿地に選定	★汽水湖沼(ガン・カモ類)	★観音川:昔からサケ遡上	ワカサギ激減
	2000	・シジミ放流開始(宍道湖産700Kg)5年	・塩分濃度0.5%必要(現状0.1%)	・中村幹夫氏指導(宍道湖)	シジミ放工大
	1998	・浜坂で土砂採取(国定公園内)県特認事項	1999:アイリスブリッジ、ハミングロード完成	14億	キル繁殖
	1994	・ヨシ浮き礁50:1千万■河川空間管理計画策定			
	1994	・浄化対策(汚泥浚渫3億)開始5ヶ年計画	・水質悪化:南湖(マスコ元凶)は生活水	・1994ハイライン完成	掘削70cm
H3	1991	・カヌーポロ大会開始	◆赤尾ヒシ◎小牧:ヒシ、フサモ、オオカナダモ	最深3.6m	
	1990	・汚染源は生活排水が化学肥料と並んで大きな原因と考えられる(町広報紙)		・生活排水浄化推進員18人	
元	1989	・護岸③吉崎浜坂・漁港・開田橋工事	・奥村充司(福井工専)研究論文	・畜産系の汚染大60%	
62	1987	★塩害(干ばつによる)			
61	1986	・国営坂井北部総合農地開発完工(17年)	・畑1,000ha、水田900ha	1985:護岸工事/タメ漁獲減	漁獲減
61	1986	・町広報:原は生活排水と考えられている	・北潟意識調査70%家庭排水原因	・ヒシ異常繁殖	
60	1985	・護岸②北潟地区護岸工事9.9億			
	1982	★塩害(干ばつによる)	1984:湖沼水質保全特別措置法	・日の出橋封鎖	
54	1979	・護岸①観音川・蓮ヶ浦護岸工事完成	★1979:塩害(干ばつによる)	・日の出橋封鎖	
	1978	・北潟湖畔自然公園(菖蒲園)完工	★1976:ソウギョ1万匹放流(水草繁茂)		ソウギョ放流
	1968	・越前加賀海岸国定公園に指定	1975:乗用田植機		
42	1967	★塩害(5月1日~39日間降雨なし)	・開田橋不備も重なり塩害(3割減収)	・1965我谷ダム完成	
40	1965	・鉄製汐留観音開閉門設置・湖岸線開通	★汐留樋門(舟通し)完成	・農業の近代化	
39	1964	★塩害200ha(干ばつによる)水位差40cm	★12月1日~3月31日(水門開放)	・日の出橋封鎖60%減収	
	1961	・「農業基本法成立」土地改良推進	・圃場整備:大型トラクター		ワカサギ放流
	1960	・芦原ゴルフ場オープン9H		★燃料革命	浜名湖産
34	1959	・干拓待てず畑地灌漑事業先行41ha	湖水灌漑用水に使用:湖の干拓×	★燃料は木材	農業用水
	1958	・吉崎に温泉(湖岸埋立)ヘルセンター	・透明度高:湖面一面に藻:湧水多	・昭30頃30頃湖沼漁業衰退	
	1950	・湖干拓200ha造成計画アリ:準備5年必要	・湖上交通は船(1950頃迄)	水深4.5m	カエル13万匹
昭20	1945	・富津地区入植(国有林72ha開拓)	・マツ、スギ、シイ、クリが密生、	★1947農地改革	食糧増産
	1939	★大干ばつ	・山裾はフジヤクマザサ生い茂る		フナ放流
5	1930	福良ヶ池養魚場(鯉、鮒、緋鯉、スッポン)	・1931以前:夏季3ヶ月閉:他は入潮閉	・昭7漁獲変異:原因不明	
	1932	・湖の干拓完成15ha(細呂木、蓮ヶ浦)			コイ放流
大正	1918	・開田橋:潮留橋完成	・湖の埋め立て盛ん(無断も)	・製塩業が廃れタマコ栽培	ウナギ放流
明38	1905	・製塩(海岸部)50釜500俵225t(波松)	★マツ伐採しない掟(薪は4500把必要)1907廃止		県No.1
	1898	・1898干拓提案(渡船業中心で無関心)	・維新で関所、宿場廃止(細呂木)	・北陸街道も熊坂新道	
	1897	・国鉄開通(北前船の終焉)			
明治	1868	・住民要請:潮留開田橋完成(藩、和田家)	・新田開発	・ランプ(松のシソ)	淡水漁業
	1851?	・金津川を分水し赤尾から湖へ流す陳情	吉崎浦の水戸も深くなる実現できず	・1857牡蠣塚なくなる	内湾漁業
	1782	・「天明の飢饉」1782~1787	1732:享保の飢饉:1837天保の飢饉	・北潟村毎日18名近く死亡	1丈4尺5寸
江戸	1664	・大聖寺川下流新田開発始まる	1668:加賀藩鹿島に道をつける	・芭蕉訪れる1689	(4.4m)
	1661	・鹿島周辺土砂堆積し北前船航行しにくくなる	1628:カキ養殖盛ん(蠣塚300ヶ所)	・名産:「ボラ」「お筆草」	サルボウガイ
室町	1471			・蓮如吉崎に御坊建立	
鎌倉	1288	・丘陵地は「坪江下郷」に入る	・小牧では放牧(牛馬飼育)		獣害対策
平安		・樋山製塩遺跡(850m)		・1100 細呂宜郷	
	640	・細呂木たたら製鉄炉遺跡木炭C14	・マツ、クリ、クヌギの木炭	・たたら操業には3,000ha	
		・古代製鉄釜跡16基(砂鉄原料)	・木炭用の木がなくなると移動	の山林必要(島根資料)	
		横山古墳群(二百数十基)前方後円墳15	・河瀬遺跡・西長割り遺跡(製塩土器)		
縄文		・音部遺跡(縄文後)貝塚、鏃・百足森	・知原遺跡(中)貝塚、石器類	・西山遺跡(草創):尖頭器	
4紀	12万	・干越台地:芦原砂層(河口):北潟層(古砂丘)	火山灰:DKP(5万年)始良Tn(2.6万)	・11680水河期終結:水月湖(年縞)	

参考資料: 芦原町史、金津町史、芦原町土地改良史、町報あわら、金津町吉崎の郷土誌、北潟湖の自然、北潟公民館だより「やぐも」

汽水湖北潟湖集水域の環境問題に関する研究(奥村充司1989)・北潟湖の水質改善に関する研究(高嶋正信2008)

0.6%